



日本フォレンジック看護学会 第4回学術集会

最新版

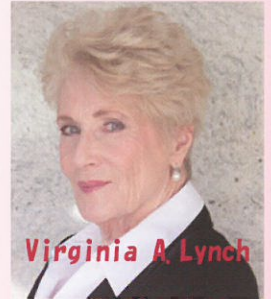
災害におけるフォレンジック看護実践の可能性

日時 2017年 9月2日(土) 10:00~17:00
9月3日(日) 9:00~12:30

場所 福岡看護大学

福岡市早良区田村2丁目15-1 <地下鉄七隈線 賀茂駅下車徒歩10分>

大会長 柳井圭子(日本赤十字九州国際看護大学教授)



Virginia A. Lynch

フォレンジック看護とは、暴力、虐待、犯罪、事故、災害に遭遇した方に、法医学的知見を活かし、人権擁護の立場から健康回復に務め、公衆衛生の向上に寄与するものです。今回、アメリカよりフォレンジック看護のパイオニア・リンチ氏、ハリケーン被害の経験を活かし活動しているフォレンジック看護実践家・ラスキー氏をお招きし、日本における災害とフォレンジック看護の役割について共に考えます。

参加費(円)	会員	一般	学生
事前申込	8,000	9,000	4,000
当日参加	10,000	11,000	5,000

9月2日(土)

10:00 開会式

10:10 教育講演

法医学と看護学との連携—教育と実践

池田 典昭(九州大学大学院教授・日本法医学会理事長)

11:40 大会長講演

なぜ今、災害とフォレンジック看護なのか

13:00 基調講演 // 通訳付

全人的医療の提供を目指して

—災害に活かすフォレンジック看護

バージニア・リンチ Virginia A. Lynch

(国際フォレンジック看護学会創設者・初代会長)

(日本赤十字九州国際看護大学 客員教授)

15:00 シンポジウム

災害におけるフォレンジック看護の役割

座長 李 節子(長崎県立大学看護学科教授)

1) 2016熊本地震災害における看護活動の実践

東 智子(熊本赤十字病院 看護部長)

2) 2011東日本大震災とフォレンジック看護

福島 裕子(岩手県立大学看護学科教授)

3) 災害時に発生する暴力への警察の対応と課題

里型 和洋(熊本県警察本部警部補)

4) 遺体確認と遺族ケア

太田 秀人(筑紫歯科医師会理事 歯科医師)

9月3日(日)

10:40 教育講演&市民公開講座 // 無料/通訳付

アメリカにおける平時の暴力防止の取り組み

サリー・ラスキー Sally J. Lasky

(国際フォレンジック看護学会最高経営責任者)

特別研修会 9月3日(日) 13:30

看護師による死亡確認

大澤 資樹(東海大学大学院法医学教授)

看護師が「死亡」を確認するには、法医学の研修が必要です。講師は、法医学者でありガイドライン策定の中心的存在です。

*学会員以外の参加者は資料代1,000円をご負担下さい。

演題募集: 2017年3月21日~5月31日

ホームページから会員登録→参加登録→演題登録

詳細・参加申込は日本フォレンジック

看護学会ホームページ <http://jafn.jp/>から

問い合わせ電話番号: 070-3327-3317

<後援>福岡県看護協会